

○中村委員

観光バスはそんなに変わらないと思うが、レンタカーは増えている。タクシーは営業所がなくなったが、利用が増えている。参拝者数 21 万人ぐらいという数字は、ほぼ前年と変わらないが、バスの利用が減っている理由は分からない。

○中井事務局長

パワースポットツアーとして、伊勢神宮、石神さん、伊雑宮などを周るパックツアーをネットなどで見かける。今までかもめバスで石神さんへ行くというのが主流だったのが、移動手段のツールがレンタカーやタクシー、観光バスなどにシフトした結果、国崎線の利用減少に繋がったと考えている。

○中村委員

今後は特典をつけるなどしないと乗ってもらえないと思う。

○中井事務局長

協力をお願いします。

○中村委員

バス停にトイレを整備するなど環境は整えているので、それらも有効活用しつつ、何か特典をつけるなどしてやっていった方が、利用が増えるのではないかと。特に 31 年は大きなイベントが色々あるので、地域は地域で考えていかないといけない部分がある。特に今は御朱印ブームということもあって、旅行者の方から特別御朱印を作ってくれという要望があるので、それは作るようになった。特別感を持たすような旅行プランとして、例えばバスに乗ったら特別の御朱印がもらえるとかの案も考えられる。

○榎委員

この企画は自治会連合会単独で進めているのですか。

○中村委員

町内会単独です。

○榎委員

自治会連合会としての取組みはしているのですか。

○中村委員

特にはしていません。

○今井委員

バスに乗ったら何かいいことがあるとか、乗る側にとって楽しみがあるといいと思う。例えばバスに乗ると特別御朱印がついてくる御朱印帳があって、何か所かで押ししてもらえとか、中村さんと一緒にアイデアを出しながら、いい物を作ってもらいたいと思う。

○渥美委員代理 鈴木氏

定期船の部分で、人口減少や観光客も減っているというデータが出ている。条例で決まっているので難しいと思うが、観光客に向けて周遊券料金を、もう少し弾力化できないかと思う。例えば幅のある金額に変えて、観光客のニーズに応えるような周遊プランにするため条例改正することは難しいですか。

○中井事務局長

まず 1 点言えるのは、割引についての条例はないので、今のところ料金の割引はできない。大きな赤字を抱えている中で、割引については今のところ考えていない。議会も通さないといけない案件でもあり、また 10 月に消費税増税も控えていることから、これからの運営の中で割引というのは難しいと思う。

○加藤委員

相差町内会ホームページの石神さん紹介には、バスのことがいっさい書かれていない。駐車場の案内や鳥羽駅までどう来るかなどは書いてある。鳥羽市ホームページにはバスでの石神さんへの行き方と相差町内会ホームページがリンクされている。相差町内会ホームページには東京からのツアー 9,980 円からというのが大きく出ていて、予約状況はキャンセル待ちになっている。大至急、バスのことをちゃんと載せてほしい。今は皆、ネットで調べて来るので、バスのことが全く載っていないというのではいけない。現地で色々案内していても、旅行に来る時点で観光バスを選んでいたら、どうしようもない。

○今井委員

町内会のホームページはどこの管理しているのですか。

○中井事務局長

町内会だが、こちらが会長に掲載をお願いするのを失念していた。また正式をお願いする。

○加藤委員

ただ、ブログとかを見ると、バスで行ったという人がけっこういる。インフルエンサーという言葉があるが、そういう影響力のある人にバスに乗ってもらうことが大事。なので、石神さんにバスで行けるということを知ってもらえることがまず基本で、そのうえで特典とかができればいいと思う。

○立花会長

またご相談させていただいて、ぜひ掲載していく方向で進めていく。

○加藤委員

資料 3-3 が、両方とも B 評価になっているのはなぜか。A 評価でもいいと思うが。それと、懇談会の開催が第 1 回だけになっている。

○寺本事務局員

第 2 回も開催しています。

○加藤委員

第 1 回のことしか書いてないと、1 回しか開催していないように思われる。1 回目、2 回目の内容を記載し、3 回目もやる予定があるならそのことも書いておくこと。内容についても、「提案した」「議論した」というだけだと、何もできていないという評価になってしまうので、結果何に繋がったのかを書いてほしい。まだ結果に繋がってないとしても、実現に向けて頑張っているということを書いてほしい。

資料 3-4 の高校生の取組みについても、この表現だと本選までいかなかったことをアピールしているように見える。高校生の皆さんにも喜んで作ってもらって、いい物ができそうな方向に向かっていくことを書いてほしい。

資料 3-2 の市営定期船の看板を外国語表記にする改修というのは、日本語表記をなくしていないのなら、多言語化とするべきではないか。

○中井事務局員

日本語、英語、中国語、韓国語です。

○加藤委員

それなら 4ヶ国語併記にしたとすべきなので、注意してほしい。

資料 3-1 については、レンタカー事業が拡充されつつあるという部分が分かりにくい。レンタカー事業が拡充されつつあり、バスに対して脅威となっていることから、バスの方を強化しなければならないという風にしてほしい。SNS やネットでのアピールが大事だが、先ほどのようにバスのことをネットでうまくアピールできてないことを思うと、石神さんに行くのは公共交通では不便だということがだんだん浸透してきているのではないかと。そういうことは取り返すのが難しい。鳥羽駅で降りて、バスで石神さんへ行くまでの 3 分ぐらいのムービーを作って載せれば、簡単に行けることが分かってもらえるかもしれない。高校生とかがやってくれると嬉しいが、安心して行けることのアピールが必要だと思う。

レンタカーは全国的にも急増していて、バスから客を取っている。北海道や沖縄でも空港周辺にレンタカー屋が立地できないほどで、レンタカー屋に行く路線バスができるような状況である。インバウンドでもレンタカーが急増しているので、公共交通のアピールをきちんとやっていかないといけない。

○中村委員

昨年 12 月 26 日に三重県が主催した高校生地域創造サミットで、高校生が観光関係の提案をしているので、参考になるものがあれば活用してはどうか。

○木下委員

私からは 4 点申し上げたい。まず 1 点目は、開催通知で案内されたバスに乗ってこの会議に来たが、国崎行きで石神さんに行こうとした方が、バスセンターの職員に時刻を確認したところ、それは鳥羽駅発の時刻だったので、もう間に合わず断念していた。私が乗ったのは 9 時 47 分発の石鏡港行だが、バスが信号待ちをしている時に、不安になった人が石神さん行きかどうかを尋ね、行かないことが分かって結局降りていた。出発の時点で、石神さんへ行けず迷っている方を何人も見たというのが現状である。

2 点目は、資料 3-1 に老人クラブの方にバスの乗り方教室を開催したとあり、3-4 でその内容が紹介されているが、ここに書かれている思いは自分でも推測できるようなことなので、もう少しアンケートで得られた詳しい意見について書いてほしかった。

3 点目は、昨年 11 月に教育委員会が開催した答志島ウォーキングに自分も参加した。市内だけでなく、市外の方もとても喜んでるのを耳にしたが、アンケートを取っていなかった。観光客に来てくれとい

うだけでなく、ニーズをしっかりと把握するためにアンケートを取るべきだったと思う。鳥羽の日の無料乗船会についても、参加者がどんな感想を持ったかを把握したのかということも思った。やったらそれで満足というのではなく、皆さんのニーズをその都度把握していったら、今後に繋がるのではないかな。

4点目は、ウォーキングの時に答志スカイラインがとても良かったので、先日自分1人でアシスト付自転車で行ってきた。人数的には少ないかもしれないが、観光案内所でもお客様からの要望があるので、定期船課に自転車を置いて、貸し出しを促進していくというのはとてもいいのではないかな。一番街やガイドセンターに置いているところを、数台でも定期船課に置いて、案内していくといいと思う。

○中井事務局長

3-4に記載されている老人クラブの方の思いについては、2月に中部運輸局で限られた5分の時間で発表するための資料であることから、詳しい内容までは記載していない。無料乗船会のアンケートについては、聞き取りはしたものの、紙ベースではとっていない。ウォーキングのアンケートはとりましたか。

○岩本委員

担当課ではないが、とっていないと聞いている。

○中井事務局長

自転車については、自転車を置くことでどれだけ定期船の利用客が増えるかということと、どちらかという観光の方の話になってくる部分があるかと思う。また観光部局と話をさせていただくが、定期船課の業務として自転車を置くというのは、採算等の関係で一考しないといけないので、ここですぐにやるかやらないかの返事をすることはできない。

○今井委員

ウォーキングは西川先生が中心になって開催されたと思うので、もう少し具体的な話を聞きたい。

○西川委員

好評だったことは実感している。青の峰山で3回、答志島では2回やったが、1回目も2回目も300人の定員いっぱい応募があり、定期船課との連携も1回目よりスムーズにいった。ウォーキングコースとしては景色も非常によく、運動量も最適だと思うので、ずっと続けてほしい。定期船課が、1回目の反省点を活かした形でサポートしてくれたし、船長の対応もよかった。木下さんが言われたように、参加者が歩いてみてどう思ったのかということは活かしていかなければならないと思う。

○清水委員

資料3-1の路線別乗客数と全体の本数について教えてほしい。

○寺本事務局長

昨年度の乗客数実績は、小浜～鳥羽小学校線 15,283人、小浜～安楽島線 39,126人、小浜～ウイスタリアン線 32,596人、鳥羽～国崎線 71,754人、鳥羽小学校～石鏡港線 72,261人です。

○加藤委員

本数は、小浜～鳥羽小学校線は鳥羽小学校行き1便と帰り4便、小浜～安楽島線は安楽島行き8便と小浜行き10便、小浜～ウイスタリアン線は6往復、鳥羽～国崎線は11往復、鳥羽小学校～石鏡港線は鳥羽行き10便と石鏡港行き11便です。利用者数はいつも3月の会議で何年かの推移を出している。事業評価では合計人数で評価するのでこういう記載になっているが、参考までに各路線が何%ぐらい増減したかというのを書いておいた方がいいかもしれない。

○清水委員

目標数値250,000人に対し、222,515人の実績となっているが、前年度実績と比較するとどうですか。

○中井事務局長

前年より減っている。25万という数字が右肩上がりの時に設定した数値であるので、実績が下がりつつある現状においては、達成が厳しくなっている。計画の数値が見直しできるのであれば、中間年ぐらいで計画自体を見直さなければならないと考えている。

○清水委員

三重交通の方にお聞きしたいが、現状の本数と乗車数についてはどう感じていますか。

○三村委員

バス利用については、学生、高齢者、観光客の大きく3つに分けて考えることになる。学生については学校の始業・終業時間、高齢者については病院などに合わせている部分があるので、休みの時以外はそれほど人数は上下しない。観光客はやはり土日祝日に集中する。1月の連休は鳥羽バスセンターで勤

務したが、朝の10時代は石神さんに行くお客様が、女性の方を中心に20~30人お待ちいただいていた。そういった時は、追車便という形で臨時対応するが、平日は追車を出すほどの状況ではないことから、人数の微減傾向は続いているのかと思う。ダイヤの見直しについては、市の方と協議のうえで進めていくことになるが、今すぐ大きく艇入れするところまでは至っていないと思う。

○清水委員

バスの定員数と乗車人員を見て、乗車率についてはどう考えていますか。

○三村委員

観光路線と一般路線で変わってくる。

○清水委員

全体としての乗車率でいい。バスの定員に年間の本数をかけ、それに乗った人の率はどうなるか。

○三村委員

路線によって差が大きいので一概には言えない部分がある。

○加藤委員

乗車率を知る意図はなんですか。

○清水委員

年間の総定員数に対しての乗車率を聞きたい。5路線で割合の違いがあるだろうことに関心がある。

○加藤委員

それぞれの便に何人乗っているかというデータのことだと思うが、鳥羽の場合は方向、時間、季節、土日が平日かなどによって全く違うので、平均してもあまり意味がない。しかも一番多い時に合わせて走らせなければいけない。観光シーズンでなければ、走らせることについては減便というのもありえるが、車両が一番大きいところに合わせていかないと、追車が出るような状況になってしまう。改善した方が効率はいいけれども、需要の変動に応じてやらないといけない。

○清水委員

石神さんを例にとれば、訪れる人が増えればその路線のニーズは増えるので、その方達がどんな時間帯で使っているのか、帰りはどうなのかということ考えた方がいいと思う。

○加藤委員

10時の便が非常に多いという話があった。

○三村委員

それについてはデータもある。

○清水委員

おそらく滞在時間が短いと思う。タクシー利用が多いというのもそういうことだと思う。

○三村委員

旅客が多い時については効率を考えると、定期で時間を決めてダイヤ通り運行するより追車便で対応する方が、お客様と当社双方にとって有効だと思うので、こういうスタンスをとっている。

○清水委員

利用者が多い時は、追車便が出るわけですね。

○三村委員

基本的にはそのような形で努力している。

○中井事務局長

国崎線は小型のバスだったが、去年バスを大型化したことにより追車がかなり減った。そのかわりハローの駐車場に入っていけなくなったので、高齢者からの苦情はけっこういただいている。追車をしなくなったことで観光客の利便性は向上させたつもりであるし、市にとっても追車代の面で採算が取れた。

○加藤委員

季節や曜日を問わず、朝から晩まで皆が同じように乗るなら最少の台数にできるのだろうが、色々試行錯誤の末、国崎線は高齢者にとってはハローに入れる小型バスがよかったのに、観光を優先して差し替えるという工夫をしてきた経緯がある。国崎線の大型化のことも評価に書いておいてもいい。観光客にとってハローは関係ないが、生活で利用する人にとっては大事。それを同じ便で走らせなければならぬのが辛いけど、別の便を出せば、それだけ経費がかかるのでとてもできない。もともとベースとして、かもめバスになる前から、鳥羽の路線は廃止代替路線で全く採算が取れていないということがある。

○濱口委員

1つ気づいたことを提案します。2、3日前に豊和苑に行くためにバスに乗った時に、藤田緑の村で降りるのかと思っていたら、次の高山というバス停が最寄りであった。次の停留所を案内する時に、ここに用事がある方はここで降りてくださいというようなアナウンスがあると丁寧でいいと感じた。

○中井事務局長

名古屋の地下鉄などは、そういうアナウンスがある。経費等の都合もあるが、参考にさせていただく。

○濱口委員

経費がかかるのですか。

○中井事務局長

プログラム、案内等の変更に経費がかかる。

○加藤委員

名古屋市交通局だとそれは広告になるので、施設の方がお金を出して載せてもらうのが基本になる。

三重交通の場合でも、通常の路線だとそうなる。かもめバスは市との共同になるので、どうなりますか。

○中垣内委員

広告なので、基本依頼主からの依頼で入れることになる。1回×往復の回数分など変更にかかる色々な費用は発生してくる。また、そのバス停周辺のどの部分をアピールするかなど、色々な問題はある。お客様の立場から見ると、この施設に行くにはここで降りると便利といったことはバス会社としてもアピールしたいところではあるが、一般路線は依頼主からの依頼で広告を入れているという現状である。

○加藤委員

公共施設の場合は、そうでなくても入れることは多い。一番いいのは停留所名になっていること。どういうところを勘違いしてしまったのか、教えてもらえますか。

○濱口委員

豊和苑の場所は分かっているが、藤田緑の村や高山がどの辺にあるのかが分からなかった。分からないので、藤田緑の村で降車ボタンを押した時に運転手に聞いたら、次のバス停だということが分かった。自分達ですらそうなので、他から来た人や外国人ならもっと戸惑うのではないかと思い、もう少し丁寧になればよいと感じた。全部に案内が必要だとまでは思わないが、所々では必要だと思う。

○加藤委員

今はネット検索などでもできるので、停留所名をよく利用される施設などと紐付けしなければならない。鳥羽もその対策はしてきたが、停留所名がピンとこないとか、最寄施設の案内をした方がいいというようなことを教えてもらえると、修正ができると思う。停留所で降りると行ける場所の観光案内をすることもできる。1月から始まった伊勢の循環バスは小学生や、市役所前は市長がアナウンスしているように、広告の権利の部分だけ注意すればアナウンスも今はけっこう自由にできるようになっている。

○中井事務局長

また色々と検討させていただく。

○西川委員

加藤先生にお聞きしたい。答志島については、外国人が増えている。実家の食堂にも来ることもあり、中国系の方が多いが欧米の方もいる。ただ、町には英語、中国語、ハングルなどの案内はいっさいない。素朴さを売りにすることと表記の有無は別と考えると、表記はあった方がよいと思いますか。そのあたりのことを定期船課がやるのか観光課がやるのかということはあるけれども。

○中井事務局長

定期船課としては棧橋が主になるので、町中のことは観光課になると思う。

○西川委員

資料3-2に離島が旅先となるようという表記があるが、その通りだと思う。離島の人口は減っていくが、定期航路は存続していく。島民が減った分、観光客を増やさないと運営が成り立たないという構図はこの先ますます強い傾向になると思う。以前からずっと言っているが、離島のPRビデオはよくできているのに、マリンターミナルで流してもアピールにはならない。島に行くという目的を持ってマリンターミナルに来た人が見れば、なるほどとは思いますが、本来は島へ行ってみたいと思ってもらうために見てもらうものだと思う。答志の岩屋山古墳など立派な観光資源があるのに朽ち果てていくだけではもったいないので、各4島の観光資源の掘り起こしは、定期船利用者数を増やすためには必要不可欠だと思う。

○中井事務局長

観光部局と話をしてみます。

○加藤委員

私の考えとしては、船着場はきちんと多言語で案内をしていかないといけないが、観光スポットへの案内でそれをやると旅情はかなり減ると思う。色々外国へ行ったが、日本が一番多言語での案内をしている。日本語が分かりにくいからということもあるが、タイやマレーシアなどは全然やってない。英語で小さく書いておくぐらいでいいし、中国の方は漢字が少し分かるので何とかなる部分もある。トイレや船着場などについてはきちんと書いて、あとの部分はそこまでやる必要はないと思う。それよりも地図をちゃんと作って、地図上の番号と場所を連動させ、地図を持って動いてもらうようにすること。

○立花会長

この件について、他になにかありますか。提出資料で修正すべき点については、事務局で修正のうえ、事業評価を中部運輸局に提出するというのを承認していただける方は挙手をお願いします。(全員の挙手あり) 今後の検討事項については、他部局も含めて検討させていただき、特にインバウンド対応については、全ての地域に関わってくることなので、どの方法が一番いいのかを慎重に考えていきたい。

(2) かもめバス企画切符の発売について

○寺本事務局員

資料4について説明。

○今井委員

お絵かき水族館のチラシには、かもめバス切符のことが載っていない。

○寺本事務局員

こちらのチラシの印刷には間に合わなかった。独自に周遊マップ等を記載したチラシを配布したい。

○今井委員

このチラシと一緒に置くということですか。

○寺本事務局員

はい。三重交通さんに協力してもらって、なるべく広い範囲に置きたいと思っている。

○今井委員

このチラシだけ先に行くと、他の割引の方に目が行ってしまう。せっかくなのでぜひ周知していただきたい。

○寺本事務局員

インターネット等でも周知していく。

○中井事務局長

実際このチラシを作り始めたのが10月だったので、それには間に合わなかった。観光協会の方が早い時期からかなり力を入れていたが、10月時点では、まだこちらとしてはそこまで話が進んでいなかった。

○今井委員

過去売れなかったチケットもあると聞いているので、せっかく作っても売れないといけない。

○加藤委員

簡単に言うと、3月は周遊券の値段を下げるということですね。海の博物館に行ってほしいのなら、切符を持っていったら海の博物館の割引があるとかいうことをやらないといけないのではないかな。

○寺本事務局員

このチラシを持っていくと200円引きにはなる。

○加藤委員

海の博物館は市がやっているのだから、切符を持っていけばもう少し割引になるということぐらいはやらないと、単にこのイベントに合わせて周遊券を安くしたというだけに終わってしまうので、よくないと思う。逆に、海の博物館に行かないと使えない切符だと思われる可能性もある。このイベントに合わせて切符を出すので海の博物館も安く見られるが、石神さんなど他の所も行けますよというPRをチラシやホームページでやってほしい。私としては、海の博物館が700円未満で見られることを希望する。

○中井事務局長

教育委員会と相談します。

○立花会長

かもめバス企画切符の発売について承認していただける方は挙手をお願いします。(全員の挙手あり)
地域公共交通会議の合意として、書面にて中部運輸局に提出させていただきます。

3. 報告事項

(1) 石神さん女子マラソンについて

○野呂事務局員

資料5について説明。

○中村委員

マラソンの時間帯は生活道路が通行止めになるので、ご迷惑をかけますがよろしくをお願いします。参加人数目標は1,000人だったが、667人という数字になった。北海道から沖縄まで参加者がいる。

○木下委員

あらかじめ情報をもらっている通行止めの時間から、変更はないということですね。

○野呂事務局員

変更はありません。

4. その他

(1) 第2回鳥羽市地域公共交通会議幹事会の開催について

○寺本事務局員

定期航路幹事会、バス幹事会の日程について連絡。

○立花会長

事務局からの連絡は以上ですが、せっかくの機会なので、公共交通に関して他に何かありませんか。

○伊藤委員

他のマラソン大会では、公共交通機関で来てくださいといったことが書かれていたりするので、石神さん女子マラソンのチラシにも次回以降載せてほしい。

○加藤委員

そこが本当に大事。書かないということは意識が低いということ。そこは徹底してやらないといけない。色んなイベントでもバスや電車のことを先に書いて、車のことは後で書くという癖をつけること。

○中井事務局員

分かりました。

○小寺委員

お絵かき水族館のチラシは、これで完成なのですか。

○寺本事務局員

これは観光協会のチラシなので、完成している。

○小寺委員

土産センターなどの割引が受けられるとあるが、どこのバス停で降りるとか、行き方が書いてないと利用がしにくいので、明記してもらった方がいいと思う。

○寺本事務局員

今後はそういったことにも取り組んでいくようにしたい。

○今井委員

周遊券案内の方には載せますよね。

○寺本事務局員

そちらに載せるようにしたいと思う。

5. 閉会

○立花会長

平成30年度第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会の議事については全て終了しました。今後開催させていただく幹事会について、再度出席をお願いし会議を終了させていただきます。